

愛知学院大学薬学会誌

VOLUME 2

DECEMBER 2009

愛知学院大学薬学会

THE AICHI-GAKUIN SOCIETY OF
PHARMACEUTICAL SCIENCES

NAGOYA JAPAN

ISSN 1882-9511

愛知学院大学薬学会誌

第2巻 2009年12月

THE AICHI-GAKUIN JOURNAL OF PHARMACEUTICAL SCIENCES

VOLUME 2 DECEMBER 2009

愛知学院大学薬学会

THE AICHI-GAKUIN SOCIETY OF
PHARMACEUTICAL SCIENCES

NAGOYA JAPAN

巻 頭 言

薬学部長 佐々木 琢磨

機関誌「愛知学院大学薬学会誌」の創刊号が昨年度発行され、今回その第2号が発行される運びとなりました。この一年間における本薬学部のトピックは、平成21年3月7、8日に実施された「第94回薬剤師国家試験」に本学部の第一期生が挑戦した結果、高合格率96.21%を達成し、全国61の国公私立大学薬学部で第一位になったことであります。これは学生の努力が実を結んだ成果ですが、本学部における薬学教育の確かさの一つの証といえると思います。

このように本薬学部は教育重視の新設学部ですが、教育の充実に加え質の高い薬剤師・薬学研究者の養成や国際的な貢献、さらには目に見える形での社会貢献を目指して大学の使命である研究にも重点を置いております。

課題が多く変化に富んだ21世紀の世界で、変革・改革を実行する原動力は、人材にあるといえます。薬学領域でも「医療人」としての専門性を高めることは必要ですが、「答えのない問い」に果敢に迫る「探求心」は、生涯学習を基盤とするこれからの社会人に必須の素養といえます。こうした「探求心」をもつ人材の育成に、大学での研究は極めて有用な方法と考えています。研究の方法・分野は様々ですが、そのアプローチには「科学的分析と思考」という共通した要素があります。このことを自ら体験し、「探求心」を育むために、本学部では、大学院生に加え5、6年生が講座に配属され、積極的に卒業研究を実施することになっています。さらに、研究の充実・活性化のためには若い力が有効に生かされる研究体制こそが大切であると云う構想の下に「若手教員を主体とした講座横断型共同研究」を募集し、実施予定であります。

産学連携が盛んに叫ばれ、平成14年7月3日に決まった政府の知的財産戦略大綱の目玉とされ、大学が一気に主役に浮上しました。一方で、国立大学は、法人化によって、外部資金の獲得や特許の取得が有利な分野が研究対象として優先されて行く傾向にあります。経済戦略上の重点投資という観点からみて至極妥当なことといえます。しかし、日本政府がこの産学連携の手本とする米国においても、大学が特許で得ている収入は研究予算の4%程度であります。重要なのは、米国では「大学の研究成果が広く社会に利用されることが社会貢献と考えられている」ということにあります。大学に求められているものは産業との連携のみならず、社会との連携「社会学連携」も大事であり、大学が社会との付き合いを真剣に考える時代になったということであると考えます。

現在の学問の目覚ましい進歩の中で独創性があり、しかも社会にも還元しうる研究成果を挙げるためには、大学人の相当の努力と覚悟が必要であります。このような状況の中で、本薬学部は人的にもまた学問的にも明確で社会性の高いアウトプットを創出することを目標として掲げ、学部内の力を結集し、社会への貢献を果たして行こうと考えております。皆様のさらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。

目 次

巻頭言

薬学部長 佐々木琢磨

総説

PLGA Nanoparticulate System for Idealization of Drug Carrier 1

Shaoping Sun, Hiromitsu Yamamoto, Kohei Tahara, Yoshiaki Kawashima

A Passage to Algonquin ～自然との共生～ 11

中西 守、古野忠秀、柴田麻希

原著

早期体験学習が薬学部2年次生の学習効果およびモチベーションに及ぼす影響 15

巽 康彰 恒川由己 浦野公彦 上井優一 服部亜衣 長田孝司 岩本喜久生

特集 第55回日本薬学会東海支部総会 フォーラム21

胃腸障害を起こさないNSAIDsの開発について 23

吉川幸志、浅井彰太、林秀典、横川慧、吉田辰哉

マスト細胞のミトコンドリア内カルシウムイオン動態とその役割 27

竹川まり恵、古野忠秀、中西 守

脳腫瘍治療を目指した表面修飾生分解性ナノ粒子の設計 31

加藤能豊、田原耕平、山本浩充、川島嘉明

平成20年度 愛知高校 薬学部推薦入学者対象 薬学入門講座 報告書 35

愛知学院大学 薬学部 私大助成小委員会

講座紹介・業績リスト 39

評議員会便り 79

薬学会会則 83

投稿規定 85

CONTENTS

REVIEW

- PLGA Nanoparticulate System for Idealization of Drug Carrier 1
Shaoping Sun, Hiromitsu Yamamoto, Kohei Tahara, Yoshiaki Kawashima

- A Passage to Algonquin 11
Mamoru Nakanishi, Tadahide Furuno, Maki Shibata

ORIGINAL

- The Effects of the Early Exposure Programs on the Motivation and Learning of Sophomors of Pharmacy School 15
Yasuaki Tatsumi, Yoshimi Tsunekawa, Kimihiko Urano, Yuichi Uwai, Ai Hattori,
Kouji Osada, Kikuo Iwamoto

Feature Article : 55th Annual Meeting of the Tokai Branch of Japanese Society of Pharmaceutical Sciences (Forum 21) at Aichi-Gakuin University

- Development of novel NSAIDs to prevent gastrointestinal ulcers 23
Kouji Yosikawa, Shota Asai, Hidenori Hayashi, Satoru Yokawa, Tatsuya Yoshida

- A role of Ca²⁺ mobilization in mitochondria in mast cells 27
Marie Takekawa, Tadahide Furuno, and Mamoru Nakanishi

- Design of surface modified poly (D,L-lactide-co-glycolide) nanospheres for brain tumor therapy. 31
Yoshitoyo Kato, Kohei Tahara, Hiromitsu Yamamoto, Yoshiaki Kawashima

Published by

THE AICHI-GAKUIN SOCIETY OF PHARMACEUTICAL SCIENCES

1-100 Kusumoto-cho, Chikusaku, Nagoya 464-8650, Japan